

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	議事録作成支援システム導入事業		
所管課	総務課 (総務部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	会議録作成に係る時間をAI音声認識システムの活用で、業務の効率化を図る。		区分	No.	区分名
			款	2	総務費
			項	1	総務管理費
			目	1	一般管理費
			事業	1	本庁一般管理費
根拠条例等					
総合計画	基本計画 6-2-1 行政サービスの向上				
R2年度事業の概要	議事録作成支援システム委託料		財源の内訳 (単位：千円)		
	・マイク4本、收音システム(セットアップ含) 476,700円 ・月額使用料(1ライセンス料含) 85,000円×12ヵ月×1.1=1,122,000円		分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)	会議録作成に係る時間を短縮することで、職員の働き方改革を推進する。		使用料		
			国費		
			県費		
			市債		
			その他		
			一般財源	1,559	
			R2予算額	1,559	
			R元 当初予算額		
			R元 現計予算額		
			増減額	1,559	
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		
決算額又は決算見込額 (千円)		/			
従事職員数【人工】					
人件費 (人工×8,000千円)					
総事業費：人件費含む (千円)					
活動指標名					
活動指標の算式					
活動指標の実績(見込)		単位	単位		
単位当たりコスト (円)				備考 <予算案重点事業> 【重点事業】 6. 地域力を発揮するまち 2. 健全な行政運営の推進 (8) 議事録作成支援システム導入事業	

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	総合案内業務委託事業			
所管課	総務課	(総務部)	宇陀市一般会計予算			
事業の目的	総合案内における住民対応の均一化により住民サービスの向上を図る。		区分	No.	区分名	
			款	2	総務費	
			項	1	総務管理費	
			目	1	一般管理費	
事業	1	本庁一般管理費				
根拠条例等						
総合計画	基本計画 6-2-1 行政サービスの向上					
R2年度事業の概要	総合案内業務委託料 3,281千円		財源の内訳 (単位：千円)			
	総合案内における住民対応の均一化により住民サービスの向上を図るとともに、職員の事務従事に係る負担軽減を図る。		分担金			
使用料						
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)			国 費			
			県 費			
			市 債			
			その他			
			一般財源	3,281		
			R2予算額	3,281		
			R元 当初予算額	3,108		
			R元 現計予算額	3,108		
増減額	173					
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況	
決算額又は決算見込額 (千円)			3,108			
従事職員数【人工】			0.01			
人件費 (人工×8,000千円)			80			
総事業費：人件費含む (千円)			3,188			
活動指標名		配置日数				
活動指標の算式		—				
活動指標の実績(見込)			単位	182	単位	備考
単位当たりコスト (円)				17,516	日	
		<予算案重点事業> 【重点事業】 6. 地域力を発揮するまち 2. 健全な行政運営の推進 (5) 総合案内業務委託事業				

令和 2 年度当初予算 (案) 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	<b>ふるさと応援基金</b>																																			
所管課	総務課	(総務部)	宇陀市一般会計予算																																			
事業の目的	ふるさと寄附制度は、宇陀市の発展を応援したいという寄付者の善意によるものであるため、寄附金は「ふるさと応援基金」に積立て、その寄付金を財源として事業に活用する。			区分 No.	区分名																																	
				款	2	総務費																																
				項	1	総務管理費																																
				目	1	一般管理費																																
事業	4	ふるさと応援寄附金管理費																																				
根拠条例等	宇陀市ふるさと寄附条例																																					
総合計画	基本計画 6-2-3 健全な財政運営																																					
R2年度事業の概要	【歳入】寄附金 80,000千円			財源の内訳 (単位:千円)																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">(単位:千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>通信運搬費</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>289</td> </tr> <tr> <td>業務代行・ポータルサイト委託料</td> <td>38,675</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>39,023</td> </tr> </tbody> </table>			(単位:千円)		消耗品費	47	通信運搬費	12	手数料	289	業務代行・ポータルサイト委託料	38,675	合計	39,023	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>分担金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>39,023</td> </tr> <tr> <td>R2予算額</td> <td>39,023</td> </tr> <tr> <td>R元当初予算額</td> <td>27,462</td> </tr> <tr> <td>R元現計予算額</td> <td>42,226</td> </tr> <tr> <td>増減額</td> <td>11,561</td> </tr> </tbody> </table>		分担金		使用料		国費		県費		市債		その他		一般財源	39,023	R2予算額	39,023	R元当初予算額	27,462	R元現計予算額	42,226	増減額
(単位:千円)																																						
消耗品費	47																																					
通信運搬費	12																																					
手数料	289																																					
業務代行・ポータルサイト委託料	38,675																																					
合計	39,023																																					
分担金																																						
使用料																																						
国費																																						
県費																																						
市債																																						
その他																																						
一般財源	39,023																																					
R2予算額	39,023																																					
R元当初予算額	27,462																																					
R元現計予算額	42,226																																					
増減額	11,561																																					
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	(単位:円)																																					
	年度	件数	寄附額	事業充当額	基金																																	
				寄附分	利子																																	
H20~H24	72	30452603	-5,000,000	25,452,603	363,175																																	
H25	12	20,480,000	-2,500,000	17,980,000	77,871																																	
H26	16	537,709		537,709	115,272																																	
H27	494	31,290,155		31,290,155	133,945																																	
H28	249	33,515,155		33,515,155	167,627																																	
H29	833	32,492,630	-11,036,148	21,456,482	218,666																																	
H30	1,912	66,474,710	-9,754,011	56,720,699	68,545																																	
累計	3,588	215,242,962		186,952,803	1,145,101																																	
	平成30年度末 基金現在高			188,097,904																																		
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況																																		
決算額又は決算見込額 (千円)	17,683	46,158																																				
従事職員数【人工】	0.30	0.30																																				
人件費 (人工×8,000千円)	2,400	2,400																																				
総事業費:人件費含む (千円)	20,083	48,558																																				
活動指標名	寄附金受入額																																					
活動指標の算式	—																																					
活動指標の実績(見込)	66,474	単位	千円	113,000	単位	千円																																
単位当たりコスト (円)	302		430																																			
備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 6.地域力を発揮するまち 2.健全な行政運営の推進 (4)ふるさと応援基金事業																																					

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	LINE自動応答サービス運用事業				
所管課	秘書広報情報課 (総務部)		宇陀市一般会計予算				
事業の目的	無料通話アプリ「LINE」のAIチャットボット機能を活用して、24時間365日、利用者からの「よくある質問」に自動応答するサービスを実施。住民サービスの向上と職員の業務効率化を図る。			区分 No.	区分名		
				款	2 総務費		
				項	1 総務管理費		
				目	2 文書広報費		
事業	1 文書広報費						
根拠条例等							
総合計画	基本計画 6-1-1 積極的な情報発信						
R2年度事業の概要	■LINEチャットボット機能による「よくある質問、自動応答サービス」を実施。 システムは、公式LINEのほか、市ホームページからも利用することができ、日々、利用状況を確認しながら、随時情報の追加更新を行う。 【運用保守委託料】 LINE自動応答サービス システム運用委託料 80,000円×1.10×12か月=1,056千円			財源の内訳 (単位：千円)			
	(実績) 2019年10月1日運用開始 利用件数 2260件/2020年2月1日現在 (目標) 対前年比10%増 (課題) 引き続き、内容の拡充と利用増進を図り、住民サービスの向上に努める。 また、LINEアプリの機能活用によるさらなる情報発信に努める。			分担金 使用料 国 費 県 費 市 債 その他 一般財源 1,056 R2予算額 1,056 R元 当初予算額 R元 現計予算額 増減額 1,056			
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)							
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)			特定財源の状況  備考 <予算案重点事業> 【重点事業】 6. 地域力を発揮するまち 1. 市民と行政の協働のまちづくり (3) LINE自動応答サービス運用事業		
決算額又は決算見込額 (千円)	/						
従事職員数【人工】							
人件費 (人工×8,000千円)							
総事業費：人件費含む (千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績(見込)				単位		単位	
単位当たりコスト (円)							

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市PR番組放送委託事業				
所管課		秘書広報情報課	(総務部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	本市の自然の豊かさ、くらしの情報、魅力や観光情報の番組を自主放送で制作し、その素材を活用してテレビ放送やSNS等による発信を行うことにより、宇陀市の魅力をPRし、市の知名度アップ、観光振興等につなげる。				区分 No.	区分名	
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	2	文書広報費
事業	1	文書広報費					
根拠条例等							
総合計画		基本計画 6-1-2 市民の協働と参画の推進					
R2年度事業の概要	奈良テレビ放送番組「ゆうドキッ！」内コーナー「いきいきまちだより」（毎週金曜日放送）で放送する。 県内各市は奈良テレビで制作するが、本市では自主放送により動画制作し、奈良テレビ番組で放映する。 ■動画 1~2回（60秒/回）/月 ■静止画2回（30秒/回）/月 ■データ放送 月2回更新 ■Youtube 1~2回/月更新 委託料（放送用加工料及び電波料）840千円				財源の内訳（単位：千円）		
	【目標】 本市の住み良さや豊かさ、観光情報等を積極的にPRすることにより交流人口の増加が期待できる。また、本市の魅力を市内外の方に認識していただく事により、定住先を探している方に選択する際の参考としていただく。				分担金 使用料 国費 県費 市債 その他 一般財源 840 R2予算額 840 R元当初予算額 832 R元現計予算額 832 増減額 8		
事業の目標・成果（これまでの成果、今後の見通し）							
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額（千円）		824	832				
従事職員数【人工】		0.10	0.10				
人件費（人工×8,000千円）		800	800				
総事業費：人件費含む（千円）		1,624	1,632				
活動指標名		放映回数					
活動指標の算式		動画・静止画・データ放送・Youtube					
活動指標の実績(見込)		106	単位	回	備考		
単位当たりコスト（円）		15,321	単位	回			
					<予算案重点事業> 【重点事業】 6. 地域力を発揮するまち 1. 市民と行政の協働のまちづくり (1) 宇陀市PR番組放送委託事業		

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	日本遺産申請事業											
所管課	企画課	(企画財政部)		宇陀市一般会計予算										
事業の目的	地域の有形・無形文化財群を活用し、観光振興、産業振興及び郷土愛を醸成し、もって地域の活性化を図るため「日本遺産」の認定を目指す。 また「女人高野」をテーマとして、関係する地域が連携をとり、エリアの歴史文化遺産を活かしながら、経済効果が高まる滞在、周遊可能な魅力ある地域づくりをすることにより、地域住民のアイデンティティの再認識や交流人口及び関係人口の増加、定住化の促進を図る。				区分 No.	区分名								
					款	2	総務費							
					項	1	総務管理費							
					目	4	企画費							
					事業	1	本庁企画費							
根拠条例等														
総合計画	基本計画 3-5-3 観光誘客の活性化													
R2年度事業の概要	日本遺産の登録に向けてPRや関係市村との連携を行う。 (単位：千円)				財源の内訳 (単位：千円)									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>旅費</td> <td>164</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>592</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>756</td> </tr> </tbody> </table>	科目	金額	旅費	164	需用費	592	合計	756	分担金		使用料		国費
科目	金額													
旅費	164													
需用費	592													
合計	756													
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)	観光、歴史文化を中心とした4自治体（宇陀市・河内長野市・高野町・九度山町）が連携し、「集客と消費を高める観光」を確立し、このエリアの社会、経済の活性化を目指す。 また、「女人高野」をテーマとした取り組みは、観光等で活用できるテーマと考えているため、日本遺産認定の有無に関わらず、連携を進めたいと考えている。				県費		市債		その他					
					一般財源	756	R元 当初予算額							
					R2予算額	756	R元 現計予算額							
					増減額	756								
					事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)	特定財源の状況					
					決算額又は決算見込額 (千円)	/								
					従事職員数【人工】									
人件費 (人工×8,000千円)														
総事業費：人件費含む (千円)														
活動指標名														
活動指標の算式														
活動指標の実績(見込)		単位		単位	備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 3. 活力あるまち 5. 観光戦略の推進 (11) 日本遺産申請事業								
単位当たりコスト (円)														

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	自治体交流事業																																			
所管課	企画課	(企画財政部)	宇陀市一般会計予算																																			
事業の目的	姉妹都市又は友好都市提携を締結し、相互の都市発展に資することを目的とする。			区分 No.	区分名																																	
				款	2	総務費																																
				項	1	総務管理費																																
				目	4	企画費																																
事業	1	本庁企画費																																				
根拠条例等																																						
総合計画	基本計画 6-3-1 広域行政の推進																																					
R2年度事業の概要	関係都市（丹波市）との交流推進 (単位：千円)			財源の内訳 (単位：千円)																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>旅費</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>85</td> </tr> </tbody> </table>			科目	金額	旅費	48	需用費	5	役務費	7	使用料	25	合計	85	<table border="1"> <tbody> <tr><td>分担金</td><td></td></tr> <tr><td>使用料</td><td></td></tr> <tr><td>国費</td><td></td></tr> <tr><td>県費</td><td></td></tr> <tr><td>市債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>85</td></tr> <tr><td>R2予算額</td><td>85</td></tr> <tr><td>R元 当初予算額</td><td>138</td></tr> <tr><td>R元 現計予算額</td><td>138</td></tr> <tr><td>増減額</td><td>▲ 53</td></tr> </tbody> </table>		分担金		使用料		国費		県費		市債		その他		一般財源	85	R2予算額	85	R元 当初予算額	138	R元 現計予算額	138	増減額
科目	金額																																					
旅費	48																																					
需用費	5																																					
役務費	7																																					
使用料	25																																					
合計	85																																					
分担金																																						
使用料																																						
国費																																						
県費																																						
市債																																						
その他																																						
一般財源	85																																					
R2予算額	85																																					
R元 当初予算額	138																																					
R元 現計予算額	138																																					
増減額	▲ 53																																					
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)	他自治体と連携を取りながら、新たな魅力を創造し、地域活性化を目指す。																																					
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況																																		
決算額又は決算見込額 (千円)		138																																				
従事職員数【人工】	0.20	0.20																																				
人件費 (人工×8,000千円)	1,600	1,600																																				
総事業費：人件費含む (千円)	1,600	1,738																																				
活動指標名	/																																					
活動指標の算式																																						
活動指標の実績(見込)						単位	単位																															
単位当たりコスト (円)																																						
備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 6. 地域力を発揮するまち 3. 広域行政の推進 (2) 自治体交流事業																																					

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	奈良交通路線バス運行対策費負担金				
所管課		企画課	(企画財政部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	民間バス事業者が運行するバス路線のうち、赤字路線について運行経費の補助を行う。				区分	No.	区分名
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	4	企画費
事業	1	本庁企画費					
根拠条例等							
総合計画		基本計画 2-3-2 地域公共交通の充実					
R2年度事業の概要	大宇陀線 10,655千円 桜井菟田野線 1,163千円 桜井菟田野線（引上分） 1,430千円 古市場線 7,782千円 榛原東吉野線（引上分） 530千円 都祁榛原線 842千円 榛原ネオポリス線 17,804千円				財源の内訳（単位：千円）		
	民間バス路線を維持することにより、市民の移動手段を確保できる。 【H30年度利用者数】※H30.4~H31.3 大宇陀線 227,398人 桜井菟田野線 37,627人 古市場線 56,376人 榛原東吉野線 35,914人 都祁榛原線 60,615人 榛原ネオポリス線 143,979人 民間バス路線を維持することにより、市民の移動手段の確保や利便性の向上のみならず、交流人口の増加、商業や観光振興に寄与する。				分担金 使用料 国費 県費 市債 その他 一般財源 40,206 R2予算額 40,206 R元 当初予算額 39,568 R元 現計予算額 39,568 増減額 638		
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額（千円）		30,509	39,568				
従事職員数【人工】		0.30	0.30				
人件費（人工×8,000千円）		2,400	2,400				
総事業費：人件費含む（千円）		32,909	41,968				
活動指標名		利用者数					
活動指標の算式		—					
活動指標の実績(見込)		561,909	単位	人	560,000	単位	人
単位当たりコスト（円）		59		75		備考	
		<予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 3.公共インフラの持続的な整備・維持・活用 (6)地域公共交通の確保					

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	奥宇陀わくわくバス運行事業				
所管課		企画課	(企画財政部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	宇陀市・曾爾村・御杖村の持続可能な地域公共交通ネットワークの再構築（特に路線バス奥宇陀線の維持・確保）を図るため、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律及び道路運送法に基づき、3市村が主体となり、奈良県、公共交通事業者、地域住民等と連携して協議会を組織し、宇陀地域における地域公共交通を確保・維持する。			区分 No.	区分名		
				款	2	総務費	
				項	1	総務管理費	
				目	4	企画費	
事業	1	本庁企画費					
根拠条例等	道路運送法、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律						
総合計画	基本計画 2-3-2 地域公共交通の充実						
R2年度事業の概要	市村連携コミュニティバス運行に係る協議会負担金 運行経費見込額 21,442千円 ▲ 県補助金見込額 7,970千円 差引 市村負担見込額 13,472千円  宇陀市負担割合 46.1% 宇陀市負担額 6,211千円 事務費負担 30千円			財源の内訳 (単位：千円)			
	平成29年10月から、奈良交通（株）が運行していた奥宇陀線を市村連携コミュニティバスに移行し現在に至る。 将来にわたり持続可能な運行を図るため、貨客混載の社会実験を実施するなどの取り組みを実施している。宇陀市と宇陀郡を結ぶ重要な公共交通として今後も着実に運行していく。  H30年度利用実績：11,728人			分担金 使用料 国 費 県 費 市 債 その他 一般財源 6,241 R2予算額 6,241 R元 当初予算額 5,941 R元 現計予算額 5,941 増減額 300			
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額 (千円)		5,942	5,941				
従事職員数【人工】		0.30	0.30				
人件費 (人工×8,000千円)		2,400	2,400				
総事業費：人件費含む (千円)		8,342	8,341				
活動指標名		乗車人数					
活動指標の算式		—					
活動指標の実績(見込)		11,728	単位	人	11,000	単位	人
単位当たりコスト (円)		711		758		備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 3.公共インフラの持続的な整備・維持・活用 (6)地域公共交通の確保

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ほっとバス錦運営協議会補助事業						
所管課		企画課	(企画財政部)		宇陀市一般会計予算				
事業の目的	市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。室生龍口、西谷地域と名張を結ぶコミュニティバスを運行する。				区分	No.	区分名		
					款	2	総務費		
					項	1	総務管理費		
					目	4	企画費		
事業	1	本庁企画費							
根拠条例等	宇陀市廃止路線代替バス運行対策事業補助金交付要綱								
総合計画	基本計画 2-3-2 地域公共交通の充実								
R2年度事業の概要	三重交通バス安部田線の廃止に伴う交通手段確保のため、名張～室生龍口間を運行しているほっとバス錦運営協議会に補助を行い、地域の公共交通を維持する。				財源の内訳 (単位：千円)				
					分担金				
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	バス路線の維持 平成30年度利用者 利用者数 5,383人 1日平均 22.1人 運行日数 244日  路線バスを維持することにより、市民の移動手段の確保や利便性の向上のみならず、交流人口の増加、商業や観光振興に寄与する。				使用料				
					国費				
					県費				
					市債				
					その他				
					一般財源	500			
					R2予算額	500			
					R元 当初予算額	500			
					R元 現計予算額	500			
					増減額				
事業のコスト			平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額 (千円)			500	500					
従事職員数【人工】			0.05	0.05					
人件費 (人工×8,000千円)			400	400					
総事業費：人件費含む (千円)			900	900					
活動指標名			乗車人数						
活動指標の算式			—						
活動指標の実績(見込)			5,383	単位	人	5,300	単位	人	備考
単位当たりコスト (円)			167		170				
						<予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 3.公共インフラの持続的な整備・維持・活用 (6)地域公共交通の確保			

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	桜井宇陀広域連合事業の推進			
所管課	企画課	(企画財政部)	宇陀市一般会計予算			
事業の目的	桜井広域連合は、桜井市、宇陀市、曾爾村、御杖村で構成している団体で、広域行政を推進する。また、広域連携を必要とする事業の実施に係る連携調整を行う。			区分	No.	区分名
				款	2	総務費
				項	1	総務管理費
				目	4	企画費
				事業	1	本庁企画費
根拠条例等	地方自治法等					
総合計画	基本計画 6-3-1 広域行政の推進					
R2年度事業の概要	【負担金】 桜井宇陀広域連合負担金 4,951千円			財源の内訳 (単位：千円)		
	事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し) 圏域内外の住民交流の活性化、相互発見などの機会の拡大に努めている。また、基本方針に基づき、ソフト事業施策を体系的に展開する。			分担金		
使用料						
			国費			
			県費			
			市債			
			その他			
			一般財源	4,951		
			R2予算額	4,951		
			R元 当初予算額	4,951		
			R元 現計予算額	4,951		
			増減額			
事業のコスト			平成30年度(実績)	令和元年度(見込)	特定財源の状況	
決算額又は決算見込額 (千円)			4,951	4,951		
従事職員数【人工】			0.10	0.10		
人件費 (人工×8,000千円)			800	800		
総事業費：人件費含む (千円)			5,751	5,751		
活動指標名			/		備考 <予算案重点事業> 【重点事業】 6. 地域力を発揮するまち 3. 広域行政の推進 (1) 桜井宇陀広域連合事業の推進	
活動指標の算式						
活動指標の実績(見込)						
単位						
単位						
単位当たりコスト (円)						

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	総合計画・地方創生総合戦略検証事業				
所管課		企画課	(企画財政部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	第1期地方創生総合戦略の最終検証及び第2次宇陀市総合計画の基本計画（令和元年度）の検証を行うことで、宇陀市が抱える少子高齢化・人口減少をはじめとした様々な課題の解決を目指す。				区分 No.	区分名	
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	4	企画費
事業	2	総合計画費					
根拠条例等	宇陀市総合計画条例						
総合計画	基本計画 6-2-1 行政サービスの向上						
R2年度事業の概要	（継続）第1期地方創生総合戦略の最終検証及び第2次宇陀市総合計画の基本計画（令和元年度）の検証を行い、総合計画の将来像に向けて、また目指すまちの実現に向けて、新たな事業の展開や現事業の廃止、改善を図れるようにPDCA検証を行う。 審議会委員報酬 137千円 会議開催費 49千円 検証業務委託料 2,123千円				財源の内訳（単位：千円）		
					分担金		
事業の目標・成果 （これまでの成果、今後の見通し）	毎年、人口動向や事業の進捗状況を検証することで、市職員と市民の方々が、宇陀市の現況確認と情報共有を行う。 検証結果に基づき、6つの目指すまちの姿に向かって施策を押し進めて行くことにより、市民の満足度、安心度を向上させる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	2,309	
					R2予算額	2,309	
					R元当初予算額	1,156	
R元現計予算額	1,156						
増減額	1,153						
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額（千円）	7,736	906					
従事職員数【人工】	0.50	0.50					
人件費（人工×8,000千円）	4,000	4,000					
総事業費：人件費含む（千円）	11,736	4,906					
活動指標名	施策の評価向上						
活動指標の算式	施策のA評価数						
活動指標の実績(見込)	40	単位	50	単位			
単位当たりコスト（円）	293,400	98,120					
備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 6. 地域力を発揮するまち 2. 健全な行政運営の推進 (1) 総合計画・地方創生総合戦略検証事業						

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	榛原大野線運行事業				
所管課		企画課	(企画財政部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	公共交通廃止路線の代替手段として有償バスを運行し、市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。				区分 No.	区分名	
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	4	企画費
事業	3	代替バス運行事業費					
根拠条例等	宇陀市代替バス事業に関する条例						
総合計画	基本計画 2-3-2 地域公共交通の充実						
R2年度事業の概要	奈良交通が撤退したバス路線の代替として、宇陀市役所と室生地域事務所間で市営有償バスを運行する。				財源の内訳 (単位：千円)		
	○運行便数：10便/日 ○使用料 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一区间利用の場合 大人180円 小人 90円</li> <li>・二区间以上の場合 大人360円 小人180円</li> <li>・定期券 大人7,200円 小人3,600円</li> </ul>				分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	奈良交通の撤退したバス路線の代替として、市営有償バスを運行することにより、市民の移動手段の確保や利便性の向上のみならず、交流人口の増加、商業や観光振興に寄与する。 【平成30年度】 年間利用者数 1,682人				使用料	700	
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	3,407	
					R2予算額	4,107	
R元 当初予算額	3,835						
R元 現計予算額	3,835						
増減額	272						
事業のコスト			平成30年度(実績)	令和元年度(見込)			
決算額又は決算見込額 (千円)			3,260	3,401			
従事職員数【人工】			0.20	0.20			
人件費 (人工×8,000千円)			1,600	1,600			
総事業費：人件費含む (千円)			4,860	5,001			
活動指標名			利用者数				
活動指標の算式			-				
活動指標の実績(見込)			1,682	単位	人		
単位当たりコスト (円)			2,889	単位	人		
			3,126				
			特定財源の状況				
			シャトルバス使用料 700千円				
			備考				
			<予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 3.公共インフラの持続的な整備・維持・活用 (6)地域公共交通の確保				

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	大宇陀南部線運行事業				
所管課		企画課	(企画財政部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	公共交通廃止路線の代替手段として有償バスを運行し、市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。				区分	No.	区分名
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	4	企画費
事業	23	大宇陀南部線運行事業費					
根拠条例等	宇陀市代替バス事業に関する条例						
総合計画	基本計画 2-3-2 地域公共交通の充実						
R2年度事業の概要	奈良交通のバス撤退路線の代替として、宇陀市大宇陀南部地域で市営有償バスを運行する。 ○運行便数：6便/日 ○使用料 ・一区间利用の場合 大人130円 小人 50円 ・二区间以上の場合 大人260円 小人100円 ・定期券（1箇月）大人7,800円 小人3,000円				財源の内訳（単位：千円）		
					分担金		
事業の目標・成果 （これまでの成果、今後の見通し）	奈良交通のバス撤退路線の代替手段として市営有償バスを運行することで、市民の移動手段が確保できる。令和元年度にバス車両を29人乗りから14人乗りに変更し、燃料費等の改善を図った。  【平成30年度】 年間利用者数 3,146人				使用料	700	
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	398	
					一般財源	3,588	
					R2予算額	4,686	
					R元当初予算額	4,609	
R元現計予算額	4,609						
増減額	77						
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額（千円）	4,604	4,440		循環バス使用料 700千円 雑入（総務管理費雑入） 398千円			
従事職員数【人工】	0.20	0.20					
人件費（人工×8,000千円）	1,600	1,600					
総事業費：人件費含む（千円）	6,204	6,040					
活動指標名	利用者数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績(見込)	3,146	単位	人	3,100	単位	人	
単位当たりコスト（円）	1,972			1,948			
備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 3.公共インフラの持続的な整備・維持・活用 (6)地域公共交通の確保						

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	大宇陀南部線運行事業（新方式）			
所管課	企画課	(企画財政部)	宇陀市一般会計予算			
事業の目的	本市における公共交通空白地を解消するために、地域の皆さんが自ら運行を担う公共交通空白地有償バスを新設することで移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。			区分 No.	区分名	
				款	2	総務費
				項	1	総務管理費
				目	4	企画費
事業	23	大宇陀南部線運行事業費				
根拠条例等	宇陀市代替バス事業に関する条例					
総合計画	基本計画 2-3-2 地域公共交通の充実					
R2年度事業の概要	バス運行管理委託料 1,689千円 バス車両購入経費 3,454千円 合計 5,143千円			財源の内訳（単位：千円）		
	事業の目標・成果（これまでの成果、今後の見通し） 宇陀市地域公共交通網形成計画の基本方針である「地域住民・交通事業者・行政が一体となった地域公共交通の育成」の一環で地域の皆さんとともに、地域に合った交通網の新設をすることで、持続可能な交通網の実現を目指す。 さらに、本事業の成果をもとに、他の地域での運用も検討予定。			分担金		
使用料				195		
国費						
県費				1,472		
市債				2,200		
その他						
一般財源				1,276		
R2予算額				5,143		
R元当初予算額						
R元現計予算額						
増減額	5,143					
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)	特定財源の状況			
決算額又は決算見込額（千円）			循環バス使用料 195千円			
従事職員数【人工】			安心して暮らせる地域公共交通確保事業補助金 1,472千円			
人件費（人工×8,000千円）			合併特例債 3,100千円			
総事業費：人件費含む（千円）						
活動指標名						
活動指標の算式						
活動指標の実績（見込）		単位		単位	備考 <予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 3.公共インフラの持続的な整備・維持・活用 (6)地域公共交通の確保	
単位当たりコスト（円）						

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	公共交通空白地有償運送事業補助金（らくらくバス）											
所管課		企画課	(企画財政部)		宇陀市一般会計予算									
事業の目的	菟田野地域内の公共交通空白地域及び奈良交通路線バスが廃止された大宇陀地域の一部において交通手段の確保を図ることを目的とする。				区分 No. 区分名									
	款	2	総務費											
	項	1	総務管理費											
	目	4	企画費											
	事業	40	菟田野地域事務所企画費											
根拠条例等	「菟田野らくらくバス」運行事業補助金交付要綱													
総合計画	基本計画 2-3-2 地域公共交通の充実													
R2年度事業の概要	宇陀市社会福祉協議会が事業主体となっている公共交通空白地運送事業（らくらくバス）に対し補助金を交付する。				財源の内訳（単位：千円）									
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">運行便数：5便/日</td> </tr> <tr> <td colspan="2">使用料：1回当たり200円（大人・子ども共）</td> </tr> </table>				運行便数：5便/日		使用料：1回当たり200円（大人・子ども共）		分担金					
運行便数：5便/日														
使用料：1回当たり200円（大人・子ども共）														
事業の目標・成果 （これまでの成果、今後の見通し）	利用者の大半が高齢者であり、買い物や通院の手段として地域の人々には無くてはならない交通手段となっている。また奈良交通の廃止路線の代替として運行することで大宇陀地域と菟田野地域の市民の移動手段が確保できている。				使用料									
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">平成30年度</td> </tr> <tr> <td>運行日数</td> <td>244日</td> </tr> <tr> <td>年間利用者数</td> <td>932人</td> </tr> <tr> <td>運行分数</td> <td>5便/日</td> </tr> </table>				平成30年度		運行日数	244日	年間利用者数	932人	運行分数	5便/日	国 費	
	平成30年度													
	運行日数	244日												
	年間利用者数	932人												
	運行分数	5便/日												
					県 費									
					市 債									
					その他									
					一般財源	2,473								
				R2予算額	2,473									
				R元 当初予算額	2,473									
				R元 現計予算額	2,473									
				増減額										
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況									
決算額又は決算見込額（千円）		2,321	2,473											
従事職員数【人工】		0.01	0.01											
人件費（人工×8,000千円）		80	80											
総事業費：人件費含む（千円）		2,401	2,553											
活動指標名		利用者数												
活動指標の算式		—												
活動指標の実績(見込)		932	単位	人		備考 <予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 3.公共インフラの持続的な整備・維持・活用 (6)地域公共交通の確保								
単位当たりコスト（円）		2,576		2,668										

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	デマンド型乗合タクシー配車システム導入事業				
所管課	企画課		(企画財政部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	室生地域の公共交通廃止路線の代替手段としてデマンド型乗合タクシーを運行し、市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。				区分 No.	区分名	
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	4	企画費
事業	82	デマンド型乗合タクシー運行事業費					
根拠条例等	宇陀市デマンド型乗合タクシーの運行に関する条例						
総合計画	基本計画 2-3-2 地域公共交通の充実						
R2年度事業の概要	[配車システム導入費用] ・デマンドタクシー配車システム初期経費 624,360円 ・デマンドタクシー配車システム月額費用 336,380円×12ヵ月=4,036,560円				財源の内訳 (単位：千円)		
	システムの導入により、当日予約を可能にすることで、利用促進を図る。				分担金		
使用料							
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)				国費			
				県費	312		
				市債			
				その他			
				一般財源	4,349		
				R2予算額	4,661		
				R元 当初予算額			
				R元 現計予算額			
				増減額	4,661		
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額 (千円)		/		安心して暮らせる地域公共交通確保事業補助金 312千円			
従事職員数【人工】							
人件費 (人工×8,000千円)							
総事業費：人件費含む (千円)							
活動指標名							
活動指標の算式				<予算案重点事業> 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 3. 公共インフラの持続的な整備・維持・活用 (6) 地域公共交通の確保			
活動指標の実績(見込)		単位	単位				
単位当たりコスト (円)							
				備考			



令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	宇陀市地域公共交通網形成計画推進事業				
所管課		企画課	(企画財政部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	これまで「宇陀市地域公共交通網形成計画」に基づき、基本理念で掲げた「市民総参加（宇陀力）による健康・観光・交通まちづくり」を実現するために取り組んできたが、今後さらなる利用促進を図るために、新たに「第2次宇陀市地域公共交通網形成計画」を策定することを目的とする。				区分	No.	区分名
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	4	企画費
事業	101	本庁企画費（地域公共交通事業）					
根拠条例等	宇陀市地域公共交通活性化再生協議会規約						
総合計画	基本計画 2-3-2 地域公共交通の充実						
R2年度事業の概要	宇陀市公共交通活性化再生協議会に対する市負担金（事業費）2,904千円＝（市負担金）2,904千円  【事業内容】 ①第2次宇陀市地域公共交通網形成計画の策定 ②バス路線沿線の住民を対象としたモビリティ・マネジメントの実施 ③路線バスの効率的運行に向けた検討会議の開催 ④学校モビリティ・マネジメントの実施（継続） ⑤地域住民・交通事業者・行政が一体となった持続可能な地域公共交通の検討（継続）				財源の内訳（単位：千円）		
	①第2次宇陀市地域公共交通網形成計画の策定→公共交通ネットワークを現状にあったものに再構築する必要があるため、まちづくりとも連携した地域公共交通網形成計画の策定を行う。 ②バス路線沿線の住民を対象としたモビリティ・マネジメントの実施→バス路線沿線の沿線住民を対象にモビリティ・マネジメントを実施し、利用促進を図る。 ③市営有償バスの運行形態の見直し・改善→市営有償バスの効率的運行に向けた検討会議を開催し、今後の運行形態等について検討する。 ④学校モビリティ・マネジメントの実施（継続）→市内の小学生を対象に、バスの乗り方や利用時のマナー等をレクチャーする「バス教室」を実施。 ⑤地域主体の交通づくりの支援制度の検討→地域住民を対象としたワークショップを開催し、市内を運行する地域公共交通の現状等の情報提供、それぞれの地域での問題点や解決策（案）を模索するとともに、市としてどのような支援ができるか等の仕組みづくりについての検討を行う。				分担金		
事業の目標・成果（これまでの成果、今後の見通し）					使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	2,904	
					R2予算額	2,904	
				R元当初予算額			
				R元現計予算額	4,969		
				増減額	2,904		
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額（千円）			4,969				
従事職員数【人工】		0.50	0.50				
人件費（人工×8,000千円）		4,000	4,000				
総事業費：人件費含む（千円）		4,000	8,969				
活動指標名		利用人数					
活動指標の算式		-					
活動指標の実績(見込)		580,627	単位	人	575,000	単位	人
単位当たりコスト（円）		7		16			
						<予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 3.公共インフラの持続的な整備・維持・活用 (7)地域公共交通網形成計画推進事業	

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	アントレプレナー育成循環事業【大和高原しごとづくり事業】				
所管課	企画課		(企画財政部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	本事業は、「宇陀市総合計画」で掲げている目指すまちの姿「活力あるまち」、施策の方向性「地域の産業の発展を担う次世代の人材の確保や育成」を推進するため、国の地域おこし協力隊制度を活用するとともに官民連携による起業家を育成し、経済循環を図る。				区分 No.	区分名	
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	4	企画費
事業	102	本庁企画費（アントレプレナー育成循環事業）					
根拠条例等	宇陀市仕事づくり推進隊設置要綱						
総合計画	基本計画 3-2-1 雇用の創出						
R2年度事業の概要	仕事づくり推進隊員を10名採用し、起業家育成プログラムを官民連携により実施、本市の地域資源を最大限に活用した起業家の育成を行う。 ●負担金 大和高原しごとづくり協議会負担金：21,167千円（採用委託料 1,000千円含む） 起業支援金：4,000千円（4名分） ●旅費 80千円 ●一般事務経費 10千円 ●人件費 23,213千円				財源の内訳（単位：千円）		
					分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	人口減少社会を迎える中で、移住定住の促進に向けては、雇用創出が必須の課題である。平成28年12月に奈良県・宇陀市・ロート製薬(株)による「大和高原の魅力ある仕事づくりに関する連携協定」を締結したことから、官民連携による仕事づくりに向けた取り組みを進める。 本市の特徴として、大和高原地帯であり、古くから薬草の栽培、有機農業なども盛んな地域である。そのような地域性を活かした起業家の育成に向けて、起業支援メニューの充実、空き家、空き店舗等とも連携し、市内での創業件数の増加や起業家が市内で活躍するまちづくりを目指す。 令和2年2月1日現在で8名の隊員が活動している。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	48,470	
					R2予算額	48,470	
					R元 当初予算額	26,443	
R元 現計予算額	32,582						
増減額	22,027						
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	16,157	31,282					
従事職員数【人工】	0.50	0.50					
人件費(人工×8,000千円)	4,000	4,000					
総事業費：人件費含む(千円)	20,157	35,282					
活動指標名	起業家の育成者数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績(見込)	6	単位	人	8	単位	人	
単位当たりコスト(円)	3,359,500		4,410,250		備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 3. 活力あるまち 2. 地域産業の発展を担う次世代の人材の確保や育成 (1) アントレプレナー(起業家)育成循環事業	

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	情報セキュリティ対策支援事業				
所管課	秘書広報情報課		(総務部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	コンピュータウイルス感染事案等の反省から、自庁内での情報システムの自己把握からセキュリティに関する自己点検、システム導入時の見積書や契約書の精査等から導入の際の簡易的な支援等、情報システム・情報セキュリティリテラシーのレベルを市全体で向上させ、ガバナンスの強化を図ることを目的とする。				区分 No.	区分名	
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	5	電子計算費
					事業	1	本庁電子計算費
根拠条例等							
総合計画	基本計画 6-2-3 健全な財政運営						
R2年度事業の概要	・セキュリティポリシー（セキュリティ対策基準）等、現行規程類の確認から改訂支援 ・自己点検チェックシートの作成等、自己点検の実施支援 ・セキュリティ研修 ・システム関連経費の検証				財源の内訳（単位：千円）		
					分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)	・庁内の情報システムの検証を行い、現行セキュリティポリシー（セキュリティ対策基準）の見直しを行う。  ・情報セキュリティに関する研修、システム関連経費の検証や庁内システムの自己点検等を行う支援業務を委託する。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	1,518	
					R2予算額	1,518	
					R元当初予算額		
					R元現計予算額		
					増減額	1,518	
事業のコスト			平成30年度(実績)	令和元年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額（千円）							
従事職員数【人工】							
人件費（人工×8,000千円）							
総事業費：人件費含む（千円）							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績(見込)				単位			
単位当たりコスト（円）				単位			
					備考		
					<予算案重点事業> 【重点事業】 6. 地域力を発揮するまち 2. 健全な行政運営の推進 (7) 情報セキュリティ対策等事業		

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	集会施設等コミュニティ施設整備事業補助金							
所管課	総務課	(総務部)	宇陀市一般会計予算							
事業の目的	住民相互の助け合いのコミュニティづくりの拠点となるべき公民館等の集会施設の適正な管理等に対する支援を行う。		区分	No.	区分名					
			款	2	総務費					
			項	1	総務管理費					
			目	7	自治振興費					
事業										
根拠条例等	指定管理者による宇陀市集会所コミュニティ施設整備事業に係る委託料交付要綱 他									
総合計画	基本計画 6-4-2 市民活動の支援									
R2年度事業の概要	自治会等のコミュニティ活動の拠点となる施設の新築、改修に対し事業費の一部を補助する。補助額は新築・改築は、1/2以内の額（単一自治会の場合、上限10,000千円）、増築・改修は事業費30万円以上で事業費の1/2以内の額（上限2,000千円） (単位：千円)		財源の内訳 (単位：千円)							
	<table border="1"> <tr> <td>集会所等整備委託料</td> <td>2,710</td> </tr> <tr> <td>集会所等コミュニティ施設整備事業補助金</td> <td>765</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,475</td> </tr> </table>		集会所等整備委託料	2,710	集会所等コミュニティ施設整備事業補助金	765	合計	3,475	分担金	
集会所等整備委託料	2,710									
集会所等コミュニティ施設整備事業補助金	765									
合計	3,475									
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)	地域における住民の自主的な活動の拠点としての集会所等の改修等に対して支援を行うことで、市民の福祉の増進とふれあい豊かな地域社会の育成を図る。		使用料							
			国費							
			県費							
			市債							
			その他							
			一般財源		3,475					
			R2予算額		3,475					
			R元当初予算額		12,699					
			R元現計予算額		12,699					
			増減額		▲ 9,224					
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)	特定財源の状況							
決算額又は決算見込額 (千円)	12,340	12,429								
従事職員数【人工】	0.25	0.25								
人件費 (人工×8,000千円)	2,000	2,000								
総事業費：人件費含む (千円)	14,340	14,429								
活動指標名	交付件数									
活動指標の算式	—									
活動指標の実績(見込)	9	7				備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 6. 地域力を発揮するまち 4. 地域力の再生・強化 (2) 集会所等コミュニティ施設整備事業補助金			
単位当たりコスト (円)	1,593,333	2,061,286								

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	自治会掲示板設置事業補助金				
所管課	総務課	(総務部)	宇陀市一般会計予算				
事業の目的	自治会のコミュニティ活動の円滑な推進を図るため、自治会が行う掲示板設置事業に対して、予算の範囲内において補助金を交付する。		区分	No.	区分名		
			款	2	総務費		
			項	1	総務管理費		
			目	7	自治振興費		
事業							
根拠条例等	宇陀市自治会掲示板設置事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 6-4-2 市民活動の支援						
R2年度事業の概要	自治会が設置管理する掲示板について事業費の一部を補助する。 新設・建替：11基 修繕：14基 1基あたり ●新設・建替の場合 事業費の 1/2 (5万円を限度) ●既設掲示板の修繕 事業費の 1/2 (2万円を限度)		財源の内訳 (単位：千円)				
			分担金				
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)	自治会活動において、行政等から回覧文書などの広報活動については自治会長を通じて自治会員に回覧している。 しかし、全員に回覧される場合は時間的なものもあるので、多数の市民が見ることが出来る掲示板は有効な広報手段であると考えるので補助金を交付する。		使用料				
			国費				
			県費				
			市債				
			その他				
			一般財源		830		
			R2予算額		830		
			R元 当初予算額		610		
R元 現計予算額		610					
増減額		220					
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額 (千円)	480	610					
従事職員数【人工】	0.08	0.08					
人件費 (人工×8,000千円)	640	640					
総事業費：人件費含む (千円)	1,120	1,250					
活動指標名	実施数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績(見込)	13	単位	基	17		単位	基
単位当たりコスト (円)	86,154		73,529				
備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 6. 地域力を発揮するまち 4. 地域力の再生・強化 (1) 自治会掲示板設置事業補助金						

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	<b>交通安全対策事業</b>																									
所管課	総務課	(総務部)	宇陀市一般会計予算																									
事業の目的	公共の場所における自転車等の駐車秩序を確立することにより、良好な生活環境と交通の円滑化を図るとともに交通安全活動組織、行政、警察と連携を図り、交通事故・違反のない安全なまちづくりを推進する。			区分 No.	区分名																							
				款	2	総務費																						
				項	1	総務管理費																						
				目	8	交通安全対策費																						
事業	1	交通安全対策費																										
根拠条例等	宇陀市自転車等の放置防止に関する条例・交通安全対策費補助金交付要綱																											
総合計画	基本計画 2-1-2 交通安全関連の整備																											
R2年度事業の概要	(単位:千円) <table border="1"> <tr><td>需用費</td><td>178</td></tr> <tr><td>役務費</td><td>49</td></tr> <tr><td>委託料(マイクロバス運転委託)</td><td>37</td></tr> <tr><td>備品購入費</td><td>26</td></tr> <tr><td>負担金、補助及び交付金</td><td></td></tr> <tr><td>宇陀市交通安全協会分会補助金</td><td>391</td></tr> <tr><td>宇陀市交通対策協議会補助金</td><td>180</td></tr> <tr><td>宇陀市交通安全母の会補助金</td><td>65</td></tr> <tr><td>桜井宇陀東吉野交通対策協議会</td><td>584</td></tr> <tr><td>公課費</td><td>15</td></tr> <tr><td>合計</td><td>1,525</td></tr> </table>			需用費	178	役務費	49	委託料(マイクロバス運転委託)	37	備品購入費	26	負担金、補助及び交付金		宇陀市交通安全協会分会補助金	391	宇陀市交通対策協議会補助金	180	宇陀市交通安全母の会補助金	65	桜井宇陀東吉野交通対策協議会	584	公課費	15	合計	1,525	財源の内訳 (単位:千円)		
				需用費	178																							
役務費	49																											
委託料(マイクロバス運転委託)	37																											
備品購入費	26																											
負担金、補助及び交付金																												
宇陀市交通安全協会分会補助金	391																											
宇陀市交通対策協議会補助金	180																											
宇陀市交通安全母の会補助金	65																											
桜井宇陀東吉野交通対策協議会	584																											
公課費	15																											
合計	1,525																											
分担金																												
使用料			5																									
国費																												
県費																												
市債																												
その他																												
一般財源			1,520																									
R2予算額			1,525																									
R元 当初予算額			1,429																									
R元 現計予算額			1,429																									
増減額			96																									
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)	交通安全活動組織、行政、警察と連携を図り、交通事故・違反のない安全なまちづくりを推進する。																											
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況																								
決算額又は決算見込額 (千円)	1,483	1,425		放置自転車等保管手数料 1千円 放置自転車等移動手数料 4千円																								
従事職員数【人工】	0.35	0.35																										
人件費 (人工×8,000千円)	2,800	2,800																										
総事業費: 人件費含む (千円)	4,283	4,225																										
活動指標名	活動日数																											
活動指標の算式	—																											
活動指標の実績(見込)	127	単位	回	127	単位																							
単位当たりコスト (円)	33,724		33,268																									
備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 1. みんなが住み良いまちづくりの実現 (1) 交通安全対策事業																											

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	<b>生活安全対策事業</b>			
所管課	総務課	(総務部)	宇陀市一般会計予算			
事業の目的	防犯活動組織、行政、警察が連携を図り、犯罪のない安全で安心して暮らせる地域社会を目指す。また、自治会が行う防犯カメラ設置事業に対して、予算の範囲内において補助金を交付する。			区分 No.	区分名	
				款	2	総務費
				項	1	総務管理費
				目	10	生活安全対策費
事業						
根拠条例等	宇陀市安全で住みよいまちづくりに関する条例、宇陀市防犯カメラ設置事業補助金交付要綱					
総合計画	基本計画 2-1-3 防犯体制と消費者保護の強化					
R2年度事業の概要	(単位:千円)			財源の内訳 (単位:千円)		
	需用費	639	分担金			
	役務費	5	使用料			
	委託料(マイクロバス運転委託)	19	国 費			
	負担金、補助及び交付金		県 費			
	桜井署管内少年補導委員会補助金	87	市 債			
	桜井・宇陀・東吉野地区防犯協議会負担金	584	その他			
	桜井宇陀東吉野地区暴力団排除推進協議会負担金	181	一般財源	2,115		
防犯カメラ設置事業補助金	600	R2予算額	2,115			
合計	2,115	R元 当初予算額	2,132			
		R元 現計予算額	2,132			
		増減額	▲ 17			
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)	市民の防犯意識を高め、安全で安心して暮らせる地域社会を目指す。 防犯カメラ設置事業補助件数 H29 1件 H30 1件 R元 4件					
	事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況	
	決算額又は決算見込額 (千円)	2,448	2,100			
	従事職員数【人工】	0.01	0.01			
	人件費 (人工×8,000千円)	80	80			
	総事業費: 人件費含む (千円)	2,528	2,180			
活動指標名	活動日数					
活動指標の算式	—					
活動指標の実績(見込)	60	単位	回	60	備考 <予算案重点事業> 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 1. みんなが住み良いまちづくりの実現 (2) 生活安全対策事業	
単位当たりコスト (円)	42,133			36,333		

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	防犯灯設置事業補助金																																																					
所管課	総務課	(総務部)	宇陀市一般会計予算																																																					
事業の目的	自治会のコミュニティ活動の円滑な推進を図るため、自治会が行う防犯灯設置事業に対して、予算の範囲内において補助金を交付する。			区分	No.	区分名																																																		
				款	2	総務費																																																		
				項	1	総務管理費																																																		
				目	10	生活安全対策費																																																		
事業																																																								
根拠条例等	宇陀市防犯灯設置事業補助金交付要綱																																																							
総合計画	基本計画 2-1-3 防犯体制と消費者保護の強化																																																							
R2年度事業の概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">補助対象経費</th> <th colspan="2">補助金額(1基あたり)</th> </tr> <tr> <th>蛍光灯</th> <th>LED</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防犯灯の新設</td> <td>10千円</td> <td>14千円</td> </tr> <tr> <td>既設電柱に照明器具の新設</td> <td>6千円</td> <td>10千円</td> </tr> <tr> <td>照明器具の更新</td> <td>3千円</td> <td>7千円</td> </tr> </tbody> </table>			補助対象経費	補助金額(1基あたり)		蛍光灯	LED	防犯灯の新設	10千円	14千円	既設電柱に照明器具の新設	6千円	10千円	照明器具の更新	3千円	7千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">財源の内訳 (単位：千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分担金</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>国費</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>県費</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> <td>1,654</td> </tr> <tr> <td>R2予算額</td> <td></td> <td>1,654</td> </tr> <tr> <td>R元当初予算額</td> <td></td> <td>4,486</td> </tr> <tr> <td>R元現計予算額</td> <td></td> <td>4,486</td> </tr> <tr> <td>増減額</td> <td></td> <td>▲ 2,832</td> </tr> </tbody> </table>			財源の内訳 (単位：千円)			分担金			使用料			国費			県費			市債			その他			一般財源		1,654	R2予算額		1,654	R元当初予算額		4,486	R元現計予算額		4,486	増減額		▲ 2,832
	補助対象経費	補助金額(1基あたり)																																																						
蛍光灯		LED																																																						
防犯灯の新設	10千円	14千円																																																						
既設電柱に照明器具の新設	6千円	10千円																																																						
照明器具の更新	3千円	7千円																																																						
財源の内訳 (単位：千円)																																																								
分担金																																																								
使用料																																																								
国費																																																								
県費																																																								
市債																																																								
その他																																																								
一般財源		1,654																																																						
R2予算額		1,654																																																						
R元当初予算額		4,486																																																						
R元現計予算額		4,486																																																						
増減額		▲ 2,832																																																						
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">(基)</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th colspan="2"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防犯灯の新設</td> <td>7</td> <td>11</td> <td>16</td> <td>11</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>既設電柱に照明器具の新設</td> <td>26</td> <td>40</td> <td>62</td> <td>58</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>照明器具の更新</td> <td>533</td> <td>953</td> <td>889</td> <td>809</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>566</td> <td>1,004</td> <td>967</td> <td>878</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>					(基)						区分	H27	H28	H29	H30			防犯灯の新設	7	11	16	11			既設電柱に照明器具の新設	26	40	62	58			照明器具の更新	533	953	889	809			合計	566	1,004	967	878												
(基)																																																								
区分	H27	H28	H29	H30																																																				
防犯灯の新設	7	11	16	11																																																				
既設電柱に照明器具の新設	26	40	62	58																																																				
照明器具の更新	533	953	889	809																																																				
合計	566	1,004	967	878																																																				
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)																																																						
決算額又は決算見込額 (千円)	2,142	4,486																																																						
従事職員数【人工】	0.08	0.08																																																						
人件費 (人工×8,000千円)	640	640																																																						
総事業費：人件費含む (千円)	2,782	5,126																																																						
活動指標名	実施数																																																							
活動指標の算式	—																																																							
活動指標の実績(見込)	878	単位	基	670	単位	基																																																		
単位当たりコスト (円)	3,169			7,651																																																				
備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 1.みんなが住み良いまちづくりの実現 (4)防犯灯整備事業																																																							

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	自主放送事業			
所管課	秘書広報情報課 (総務部)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	市の広報、現在の広報紙やホームページ以外に宇陀市からの情報伝達の媒体手段の一つとして、市民の皆さんにテレビによる情報を提供する。また、市民が情報発信のできるまちづくりに取り組み、まちの活性化と市民の連帯感を醸成する。		区分 No.	区分名		
			款	2	総務費	
			項	1	総務管理費	
			目	14	自主放送費	
事業	1	自主放送費				
根拠条例等	宇陀市自主放送スタジオ					
総合計画	基本計画 2-3-4 地域情報化の推進					
R2年度事業の概要	(単位：千円)			財源の内訳 (単位：千円)		
	科目	内容	金額	分担金		
人件費	会計年度任用職員人件費	2,250	使用料			
報酬	委員報酬	49	国費			
需用費	消耗品等	699	県費			
	修繕料	100	市債			
役務費	広告取扱手数料等	831	その他	1,000		
委託料	自主放送番組制作委託料	15,642	一般財源	23,127		
	警備業務委託料	132	R2予算額	24,127		
使用料	自主放送用送出サーバ使用料等	4,116	R元	27,188		
負担金	施設積立金負担金	299	R元	27,188		
公課費	自動車重量税	9	増減額	▲ 3,061		
合計		24,127				
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	宇陀市ホットニュース、宇陀市政なう、まちの話題、特別番組、緊急放送、L字緊急放送、議会中継、静止画等にジャンルを分け放送を行う。					
	宇陀市ホットニュース、宇陀市政なう、まちの話題、特別番組については、月3回更新で放送し、少しでも新しい情報を提供していく。議会中継及び録画再放送により、市政への関心を高め参加意識の醸成につなげると共に、緊急放送システムの整備により、市民の安全安心生活の一翼を担う。基本的にはあらゆる人の生活リズムに合うように、どの曜日でも、どの時間帯でも見ることが出来るようにし、一人でも多くの市民が見られるように考慮する。					
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額 (千円)	22,121	27,188		雑入(有料広告収入)1,000千円		
従事職員数【人工】	3.00	3.00				
人件費 (人工×8,000千円)	24,000	24,000				
総事業費：人件費含む (千円)	46,121	51,188				
活動指標名	市民一人当たり費用					
活動指標の算式	歳出額/市民数					
活動指標の実績(見込)	30,900	単位	人	30,226	単位	
単位当たりコスト (円)	1,493			1,694		
備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 3.公共インフラの持続的な整備・維持・活用 (10)自主放送事業					

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	地域受入協議会支援事業				
所管課		まちづくり支援課	(企画財政部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	奈良県南部・東部地域において、移住、二地域居住及び定住に向けた活動を行う団体（地域受入協議会）を支援する。				区分 No.	区分名	
	※地域受入協議会：宇陀市の住民及び職員等で構成され、南部・東部地域への移住、二地域居住及び定住を支援する団体をいう。				款	2 総務費	
					項	1 総務管理費	
					目	17 まちづくり支援費	
				事業	1 まちづくり支援費		
根拠条例等							
総合計画		基本計画 2-2-2 定住につながる環境づくり					
R2年度事業の概要	対象経費：地域受入協議会が行う宇陀市への移住、二地域居住及び定住の促進に向けた事業（施設整備を除く。）に要する経費 ・補助金（県1/2、市1/2） 500千円/1申請×1団体				財源の内訳（単位：千円）		
	宇陀市への移住、二地域居住及び定住を促進し、活力あるまちづくりに繋げる。				分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)					使用料		
					国 費		
					県 費	250	
					市 債		
					その他		
					一般財源	250	
					R2予算額	500	
					R元 当初予算額	1,000	
				R元 現計予算額	1,000		
				増減額	▲ 500		
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額 (千円)		500	500		地域受入協議会支援事業費 補助金 250千円		
従事職員数【人工】		0.30	0.30				
人件費 (人工×8,000千円)		2,400	2,400				
総事業費：人件費含む (千円)		2,900	2,900				
活動指標名		受入人数					
活動指標の算式		—					
活動指標の実績(見込)		50	単位	人	50	単位	人
単位当たりコスト (円)		58,000		58,000		備考	
						<予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 2.移住定住の促進強化 (2)地域受入協議会支援事業	

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	一般コミュニティ助成事業				
所管課		まちづくり支援課	(企画財政部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	一般財団法人自治総合センターの宝くじの普及広報事業である一般コミュニティ助成事業を活用し、地域の発展を図る。				区分 No.	区分名	
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	17	まちづくり支援費
事業	1	まちづくり支援費					
根拠条例等		宇陀市コミュニティ助成事業助成金交付要綱					
総合計画		基本計画 6-4-2 市民活動の支援					
R2年度事業の概要	宝くじの収入を財源として一般財団法人自治総合センターがコミュニティ活動に助成を行うことにより、地域社会の健全な発展を図るとともに、宝くじの社会貢献広報事業を行う。 事業に当たっては、まちづくり協議会及び自治会に周知を行い、応募申請17団体（まちづくり協議会6件、自治会11件）に対して、令和2年3月31日付けにより、1団体（自治会）が採択された。 事業内容 コミュニティ活動に係る備品整備 採択件数 1団体（昨年実績 1件 2,400千円） 事業費 2,500千円				財源の内訳 (単位：千円)		
	住民主体の地域づくり組織を形成することにより、住民の福祉の向上とふれあい豊かな地域活性化の推進を図る。				分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)					使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	2,500	
					一般財源		
					R2予算額	2,500	
					R元 当初予算額	2,400	
				R元 現計予算額	2,400		
				増減額	100		
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額 (千円)		2,500	2,400				
従事職員数【人工】		0.30	0.30				
人件費 (人工×8,000千円)		2,400	2,400				
総事業費：人件費含む (千円)		4,900	4,800				
活動指標名		助成団体数					
活動指標の算式		—					
活動指標の実績(見込)		1	単位	団体	備考		
単位当たりコスト (円)		4,900,000	1	単位		団体	
					<予算案重点事業> 【重点事業】 6. 地域力を発揮するまち 1. 市民と行政の協働のまちづくり (4) コミュニティ活動助成事業		

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	空き家情報バンク・空き家活用推進事業				
所管課	まちづくり支援課		(企画財政部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	市内にある空き家等の有効活用を通して、市外からの定住促進を図るため、市内の空き家の情報発信及び空き家の活用に対して補助を行う。				区分 No.	区分名	
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	17	まちづくり支援費
事業	101	まちづくり支援費（定住促進事業）					
根拠条例等	宇陀市空き家情報バンク設置要綱、宇陀市空き家対策・起業者支援事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 2-2-3 U・I・Jターンの促進						
R2年度事業の概要	<p>○空き家情報バンク                      所有者から申込みのあった物件情報を、市と「空き家の仲介に関する協定」を交わした宅地建物取引業者が確認し、市に情報を集約し、市内外の利用希望者に発信する。需用費30千円、役務費7千円</p> <p>○空き家活用推進事業                      空き家等を改修し、農家民宿や店舗等として活用するにあたり、補助金を支給する。                      改修等補助等13,018千円</p>				財源の内訳 (単位：千円)		
	<p>空き家の有効活用及び定住を促進し、地域の活性化を促すために、所有者に制度を周知するとともに、空き家は地域活力や人口増加の受け皿である意識を醸成する。</p> <p>また、空き家の活用を検討している起業者等に対して、補助を行うことにより空き家活用を促進し地域の活性化を図る。</p> <p>登録物件総数 200件                      成約物件総数 114件                      (令和2年1月末までの累計)</p>				分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)					使用料		
					国費		
					県費		
					市債	13,000	
					その他		
					一般財源	55	
					R2予算額	13,055	
				R元 当初予算額	17,824		
				R元 現計予算額	17,824		
				増減額	▲ 4,769		
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額 (千円)		16,264	16,324		過疎対策事業債 13,000千円		
従事職員数【人工】		0.30	0.30				
人件費 (人工×8,000千円)		2,400	2,400				
総事業費：人件費含む (千円)		18,664	18,724				
活動指標名		空き家情報バンク登録件数					
活動指標の算式		—					
活動指標の実績(見込)		10	単位	件	38	単位	件
単位当たりコスト (円)		1,866,400		492,737		備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 2.移住定住の促進強化 (4)空き家情報バンク・空き家活用推進事業

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	定住促進奨励事業・子育て世代支援事業、移住定住促進PR事業				
所管課		まちづくり支援課	(企画財政部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	市内に住宅を取得した要件を満たす方に奨励金（ウッピー商品券）を交付し、人口減少の歯止めと定住化及び活力あるまちづくりを推進する。 平成27年度からは、奨励金の上乗せにより子育て世代への支援を行っている。 また、鉄道駅等にサインボードを設置することで当市の魅力をPRし、県外の住民に関心を持たすことで当市への移住定住を促す。				区分 No.	区分名	
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	17	まちづくり支援費
事業	101	まちづくり支援費（定住促進事業）					
根拠条例等	宇陀市経済対策としての定住促進奨励金交付要綱						
総合計画	基本計画 2-2-3 U・I・Jターンの促進						
R2年度事業の概要	○事務経費 需用費 30千円、通信費 6千円、手数料 54千円、旅費 82千円 ○定住促進奨励金 転入分 100千円×30件=3,000千円 転居分 50千円×20件=1,000千円 子育て加算分 200千円×20件=4,000千円 ※18歳以下の子どもが1人の場合 50千円 2人の場合 100千円 3人以上の場合200千円				財源の内訳 (単位：千円)		
	事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	定住促進及び自治会への加入による活力あるまちづくりの推進と市内経済の活性化を図る。 平成24年度実績 転入28件(78人) 転居14件(50人) 平成25年度実績 転入19件(60人) 転居32件(111人) 平成26年度実績 転入22件(66人) 転居29件(99人) 平成27年度実績 転入29件(95人) 転居29件(76人) 平成28年度実績 転入20件(76人) 転居37件(112人) 平成29年度実績 転入29件(84人) 転居35件(139人) 平成30年度実績 転入18件(55人) 転居34件(120人) 子育て加算分 転入 9件 転居24件  看板設置等による移住相談件数 50件				分担金	
使用料							
国費							
県費							
市債							
その他							
一般財源		8,172					
R2予算額		8,172					
R元 当初予算額	9,089						
R元 現計予算額	9,089						
増減額	▲ 917						
事業のコスト			平成30年度(実績)	令和元年度(見込)			
決算額又は決算見込額 (千円)			7,396	7,089			
従事職員数【人工】			0.30	0.30			
人件費 (人工×8,000千円)			2,400	2,400			
総事業費：人件費含む (千円)			9,796	9,489			
活動指標名			申請件数				
活動指標の算式			—				
活動指標の実績(見込)			52	単位	件		
単位当たりコスト (円)			188,385	40	単位 件		
				237,225			
			特定財源の状況				
			<予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 2.移住定住の促進強化 (5)定住促進奨励事業・子育て世代支援事業				

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	結婚支援事業					
所管課		まちづくり支援課	(企画財政部)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	新たな出会いや結婚の機会を創出することにより、未婚化・晩婚化の対策を図るとともに、地域全体で結婚を支援する機運の醸成を図る。				区分 No. 区分名			
	款	2	総務費					
	項	1	総務管理費					
	目	17	まちづくり支援費					
事業	101	まちづくり支援費（定住促進事業）						
根拠条例等	宇陀市結婚支援事業実施要綱							
総合計画	基本計画 2-2-2 定住につながる環境づくり							
R2年度事業の概要	○イベントを通じて成婚し、市に定住した場合の結婚祝金 50千円				財源の内訳 (単位：千円)			
	独身男女の出会いイベントを市が誘導することにより、地域全体で若者の結婚を支援する機運を高め、宇陀の魅力をアピールしたイベントを通じて、カップルの成立と市内で住む夫婦の成立を目指す。 平成23年度から平成30年度までの成果 開催回数 15回 参加者数 414名 成婚 4組 (うち、結婚祝金の対象3組) ※平成30年度参加者52名、成立カップル7組				分担金 使用料 国 費 県 費 市 債 その他 一般財源 50 R2予算額 50 R元 当初予算額 250 R元 現計予算額 250 増減額 ▲ 200			
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)								
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額 (千円)		200	250					
従事職員数【人工】		0.40	0.40					
人件費 (人工×8,000千円)		3,200	3,200					
総事業費：人件費含む (千円)		3,400	3,450					
活動指標名		参加者数						
活動指標の算式		—						
活動指標の実績(見込)		52	単位	人	107	単位	人	備考 <予算案重点事業> 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 2. 移住定住の促進強化 (3) 結婚支援事業
単位当たりコスト (円)		65,385		32,243				

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	<b>移住支援金交付事業</b>				
所管課	まちづくり支援課		(企画財政部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	移住支援事業は、東京圏への過度な一極集中の是非及び地域の中 小企業等における人手不足の解消を目的として、移住者に対し支援 金を支給する。 なお、移住支援事業に関連するマッチング支援事業は、地域の企 業等における人材のミスマッチや人手不足の解消を目的として、地 域の企業による幅広い求人情報の作成及びマッチングサイトを用い た情報の提供を行うことを支援するものである。 マッチングサイトは、就業の場合の移住支援金の対象となる就業 先を周知するためにも用いられるものであり、移住支援事業とマッ チング事業は一体として機能する。				区分 No.	区分名	
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	17	まちづくり支援費
事業	101	まちづくり支援費（定住促進事業）					
根拠条例等	奈良県移住・就業・起業支援事業実施要領						
総合計画	基本計画 2-2-3 U・I・Jターンの促進						
R2年度事業の概要	○移住支援事業 奈良県が行う就業支援事業又は起業支援事業と連携し、東京圏から移住して就業し、又は起業しようとする者が転居・就業又は起業・定着に至った場合に、奈良県と宇陀市が協働して移住支援金を給付する。 ○就業支援事業 奈良県が、東京圏の求職者に対して訴求力の高いインターネットサイトを開設し、県内就業の支援を行う。 ○起業支援事業 奈良県が、県内において社会的事業等を新たに起業した者に対して起業支援金を給付するとともに、販路開拓や資金計画書の作成等の伴走支援を行う。				財源の内訳 (単位：千円)		
	事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	奈良県と連携し、県内企業等の人材不足の解消及び地域課題の解決並びに宇陀市への移住・定住の促進を図る。				分担金 使用料 国 費 県 費 750 市 債 その他 一般財源 250 R2予算額 1,000 R元 当初予算額 R元 現計予算額 1,000 増減額 1,000	
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)				
決算額又は決算見込額 (千円)		/					
従事職員数【人工】							
人件費 (人工×8,000千円)							
総事業費：人件費含む (千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績(見込)			単位		単位		
単位当たりコスト (円)							
特定財源の状況 奈良県移住・就業・起業支援事業補助金 750千円							
備考 <予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 2.移住定住の促進強化 (7)移住支援金交付事業							

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	まちづくり協議会支援事業			
所管課	まちづくり支援課		(企画財政部)		宇陀市一般会計予算	
事業の目的	地域住民が身近な課題解決に向け、それぞれの地域の個性を活かして自立的にまちづくりを推進するため「まちづくり協議会」の活動を支援する。			区分	No.	区分名
				款	2	総務費
				項	1	総務管理費
				目	17	まちづくり支援費
事業	102	まちづくり支援費（まちづくり協議会支援事業）				
根拠条例等	「まちづくり基本理念条例」、「宇陀市いきいき地域づくり補助金交付要綱」					
総合計画	基本計画 6-1-2 市民の協働と参画の推進					
R2年度事業の概要	○まちづくり協議会支援事業 需用費 26千円 役務費 5千円 地域づくりアドバイザー人件費 8,880千円 ○いきいき地域づくり補助金 基本分 12,700千円 ○いきいき地域づくり補助金 活動支援分 3,800千円 ○拠点整備・運転業務委託料 1,911千円			財源の内訳 (単位：千円)		
	市民主体のまちづくり組織を形成することにより、自らが考えることにより地域の実情に応じた活動しやすい組織づくりを醸成する。 いきいき地域づくり補助金（基本分）の活用により、地域課題に応じ事業が実施できる。 いきいき地域づくり補助金（活動支援分）については、独自に取り組む事業に対して追加分の補助金を支給する。 ※対象事業：市外住民との交流事業、コミュニティビジネス事業、高齢者生きがいつくり事業、世代間多世代交流事業、子ども支援事業等			分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)				使用料		
				国費		
				県費		
				市債		
				その他		
				一般財源	27,322	
				R2予算額	27,322	
				R元 当初予算額	25,859	
			R元 現計予算額	25,859		
			増減額	1,463		
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況	
決算額又は決算見込額 (千円)		25,415	25,859			
従事職員数【人工】		1.50	1.50			
人件費 (人工×8,000千円)		12,000	12,000			
総事業費：人件費含む (千円)		37,415	37,859			
活動指標名		まちづくり協議会数				
活動指標の算式		—				
活動指標の実績(見込)		22	単位	団体		備考 <予算案重点事業> 【重点事業】 6. 地域力を発揮するまち 1. 市民と行政の協働のまちづくり (2) まちづくり協議会の推進
単位当たりコスト (円)		1,700,682				

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	徴収対策経費			
所管課		徴収対策課	(企画財政部)		宇陀市一般会計予算	
事業の目的	市税・国民健康保険税の納付期限内の納税指導及び滞納者の実態調査・財産調査等を行い、滞納整理を推進し、滞納税の圧縮と早期税收確保を円滑に実施する。			区分 No.	区分名	
				款	2	総務費
				項	2	徴税费
				目	3	徴収対策費
事業	1	本庁徴収対策費				
根拠条例等	地方税法、国税徴収法、宇陀市税条例、宇陀市国民健康保険税条例					
総合計画	基本計画 6-2-3 健全な財政運営					
R2年度事業の概要	(単位：千円)				財源の内訳 (単位：千円)	
	一般必要経費				分担金	
	金額				使用料	
	会計年度任用職員人件費(市税徴収指導員)	1,816		国費		
	旅費(滞納整理・調査等旅費)	30		県費		
	需用費(消耗品費・燃料費・印刷製本費・修繕料)	613		市債		
	役務費(郵送料・預金照会手数料等)	1,296		その他	220	
	委託料(弁護士委託料)	294		一般財源	4,453	
	使用料及び賃借料(自動車借上料・高速料金)	521		R2予算額	4,673	
	備品購入費(自動車残価買取費用)	33		R元 当初予算額	4,709	
負担金、補助及び交付金	40		R元 現計予算額	4,709		
補償、補填及び賠償金(裁判費用)	8		増減額	▲ 36		
公課費(重量税)	22					
合計				4,673		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	【市税徴収率(実績)】 H21年度88.01%→H22年度88.61%→H23年度90.23%→ H24年度91.08%→H25年度91.81%→H26年度92.74%→ H27年度94.11%→H28年度95.08%→H29年度95.64%→ H30年度95.74%→R元年度96.00%(見込) →R2年度以降、96%台(目標)の徴収率を目指す。					
	【平成30年度滞納者分実績】 ○実態調査・財産調査を行い、滞納者の預貯金 生命保険などの滞納処分を実施。 ・差押執行件数 38件 ・差押金額 8,698千円 ・換価充当額 673千円					
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	5,288	4,027		滞納処分費 220千円		
従事職員数【人工】	7.00	7.00				
人件費(人工×8,000千円)	56,000	56,000				
総事業費：人件費含む(千円)	61,288	60,027				
活動指標名	市税徴収率					
活動指標の算式	市税収入済額／市税調定額					
活動指標の実績(見込)	95.7	単位	%	95.8	単位 %	
単位当たりコスト(円)	640,150		626,587			
備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 6. 地域力を発揮するまち 2. 健全な行政運営の推進 (3) 市税等徴収対策事業					

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	マイナンバーカードを利用したコンビニ交付事業			
所管課	市民課	(市民環境部)	宇陀市一般会計予算			
事業の目的	個人番号カードの公的個人認証部分を活用して、日本全国のコンビニ等の店舗内に設置しているキオスク端末を利用し、住民票謄・抄本、戸籍謄・抄本、印鑑登録証明書、戸籍の附票、住民票記載事項証明書を取得できる事業で、住民サービスの向上と窓口混雑の解消に繋げる。		区分	No.	区分名	
			款	2	総務費	
			項	3	戸籍住民基本台帳費	
			目	1	戸籍住民基本台帳費	
事業	1	本庁戸籍住民基本台帳費				
根拠条例等	電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認定業務に係る法律					
総合計画	基本計画 6-2-1 行政サービスの向上					
R2年度事業の概要	(単位：千円)		財源の内訳 (単位：千円)			
	内容		金額			
	旅費（システム更改等疎通確認）		86			
	コンビニ交付取扱手数料		117			
	コンビニ交付システム保守料（SEサポート）		1,914			
	コンビニ交付システムクラウド利用保守料		3,960			
	印鑑証明書旧姓併記対応改修委託料		489			
コンビニ交付証明書交付サービス運営負担金		2,219				
合計		8,785				
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	平成31年1月から開始したコンビニ交付サービスにより、証明書発行に占めるコンビニ交付の比率は下記のとおり推移している。 マイナンバーカード交付率上昇に伴い、住民の利便性向上が図れる。					
	≪証明書発行場所比率≫ H30=1.49% H31=1.8% R元=2.4%					
	コンビニでの証明書発行枚数 H30 506枚（市民課480枚・税務課26枚） R元 680枚（市民課640枚・税務課40枚）					
	分担金					
	使用料	333				
	国費					
	県費					
市債						
その他						
一般財源	8,452					
R2予算額	8,785					
R元 当初予算額	8,084					
R元 現計予算額	8,084					
増減額	701					
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額 (千円)	9,615	8,084		コンビニ交付手数料 333千円		
従事職員数【人工】	0.15	0.15				
人件費 (人工×8,000千円)	1,200	1,200				
総事業費：人件費含む (千円)	10,815	9,284				
活動指標名	コンビニ交付証明書発行枚数					
活動指標の算式	コンビニ交付運営経費/ コンビニでの証明書発行件数					
活動指標の実績(見込)	506	単位	枚	680	単位	枚
単位当たりコスト (円)	21,374		13,653			
備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 6. 地域力を発揮するまち 2. 健全な行政運営の推進 (2) マイナンバーカードを利用したコンビニ交付事業					

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	市議会議員選挙費																																												
所管課		選挙管理委員会	(総務部総務課内)		宇陀市一般会計予算																																										
事業の目的	令和2年3月30日に市長が議会を解散したことを受けて市議会議員選挙を執行する。				区分	No.	区分名																																								
					款	2	総務費																																								
					項	4	選挙費																																								
					目	2	市議会議員選挙費																																								
					事業	1	市議会議員選挙費																																								
根拠条例等		公職選挙法第33条第2項																																													
総合計画																																															
R2年度事業の概要	(単位:千円)				財源の内訳 (単位:千円)																																										
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>報酬</td><td>2,170</td></tr> <tr><td>職員手当等</td><td>8,289</td></tr> <tr><td>報償費</td><td>18</td></tr> <tr><td>需要費</td><td>3,441</td></tr> <tr><td>役務費</td><td>5,324</td></tr> <tr><td>委託料</td><td>4,849</td></tr> <tr><td>使用料及び賃借料</td><td>550</td></tr> <tr><td>負担金、補助及び交付金</td><td>15,453</td></tr> <tr><td>合計</td><td>40,094</td></tr> </tbody> </table>				科目	金額	報酬	2,170	職員手当等	8,289	報償費	18	需要費	3,441	役務費	5,324	委託料	4,849	使用料及び賃借料	550	負担金、補助及び交付金	15,453	合計	40,094	<table border="1" style="width: 100%;"> <tbody> <tr><td>分担金</td><td></td></tr> <tr><td>使用料</td><td></td></tr> <tr><td>国費</td><td></td></tr> <tr><td>県費</td><td></td></tr> <tr><td>市債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>40,094</td></tr> <tr><td>R2予算額</td><td>40,094</td></tr> <tr><td>R元当初予算額</td><td></td></tr> <tr><td>R元現計予算額</td><td></td></tr> <tr><td>増減額</td><td>40,094</td></tr> </tbody> </table>		分担金		使用料		国費		県費		市債		その他		一般財源	40,094	R2予算額	40,094	R元当初予算額		R元現計予算額		増減額
科目	金額																																														
報酬	2,170																																														
職員手当等	8,289																																														
報償費	18																																														
需要費	3,441																																														
役務費	5,324																																														
委託料	4,849																																														
使用料及び賃借料	550																																														
負担金、補助及び交付金	15,453																																														
合計	40,094																																														
分担金																																															
使用料																																															
国費																																															
県費																																															
市債																																															
その他																																															
一般財源	40,094																																														
R2予算額	40,094																																														
R元当初予算額																																															
R元現計予算額																																															
増減額	40,094																																														
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)		選挙事務等に関して適正に執行すること。																																													
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)			特定財源の状況																																									
決算額又は決算見込額 (千円)		/																																													
従事職員数【人工】																																															
人件費 (人工×8,000千円)																																															
総事業費: 人件費含む (千円)																																															
活動指標名																																															
活動指標の算式																																															
活動指標の実績(見込)		単位	人	単位	人	備考																																									
単位当たりコスト (円)																																															

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	市長選挙費																																																	
所管課	選挙管理委員会		(総務部総務課内)		宇陀市一般会計予算																																															
事業の目的	令和2年5月15日の宇陀市議会臨時会において、市長に対する不信任が可決され、市長が失職したことを受けて市長選挙を執行する。				区分 No.	区分名																																														
					款	2	総務費																																													
					項	4	選挙費																																													
					目	3	市長選挙費																																													
事業	1	市長選挙費																																																		
根拠条例等	公職選挙法第34条																																																			
総合計画																																																				
R2年度事業の概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">(単位:千円)</th> </tr> <tr> <th>科目</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬</td> <td>2,129</td> </tr> <tr> <td>職員手当等</td> <td>8,384</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>需要費</td> <td>2,461</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>4,442</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>3,989</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>550</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>2,688</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>24,661</td> </tr> </tbody> </table>				(単位:千円)		科目	金額	報酬	2,129	職員手当等	8,384	報償費	18	需要費	2,461	役務費	4,442	委託料	3,989	使用料及び賃借料	550	負担金、補助及び交付金	2,688	合計	24,661	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">財源の内訳 (単位:千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分担金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>24,661</td> </tr> <tr> <td>R2予算額</td> <td>24,661</td> </tr> <tr> <td>R元当初予算額</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R元現計予算額</td> <td></td> </tr> <tr> <td>増減額</td> <td>24,661</td> </tr> </tbody> </table>		財源の内訳 (単位:千円)		分担金		使用料		国費		県費		市債		その他		一般財源	24,661	R2予算額	24,661	R元当初予算額		R元現計予算額		増減額	24,661
	(単位:千円)																																																			
科目	金額																																																			
報酬	2,129																																																			
職員手当等	8,384																																																			
報償費	18																																																			
需要費	2,461																																																			
役務費	4,442																																																			
委託料	3,989																																																			
使用料及び賃借料	550																																																			
負担金、補助及び交付金	2,688																																																			
合計	24,661																																																			
財源の内訳 (単位:千円)																																																				
分担金																																																				
使用料																																																				
国費																																																				
県費																																																				
市債																																																				
その他																																																				
一般財源	24,661																																																			
R2予算額	24,661																																																			
R元当初予算額																																																				
R元現計予算額																																																				
増減額	24,661																																																			
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)	選挙事務等に関して適正に執行すること。																																																			
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況																																																
決算額又は決算見込額 (千円)	/		/																																																	
従事職員数【人工】																																																				
人件費 (人工×8,000千円)																																																				
総事業費: 人件費含む (千円)																																																				
活動指標名					備考																																															
活動指標の算式																																																				
活動指標の実績(見込)	単位	人	単位	人																																																
単位当たりコスト (円)																																																				